

## 第 117 回目の GIS News! です

稲の刈取りがほとんど終わり、今年も無事に収穫ができほっとしているところです。山形は今年も大きな災害が無く、秋のこの収穫時期には感謝の気持ちがわいてきます。

しかし、災害はいつやってくるかわかりません。災害時に GIS を復旧支援として用いることは以前からありましたが、GIS もデータ無しあるいはパソコンが動作しない状況では働きません。今回は、GIS を利用する以前のことに關する話題を提供したいと思います。



紅葉の月山

## 大災害と対処

災害の規模は、新潟県中越地震のような大きいものから規模の小さいものまで千差万別です。そこで今回の新潟県中越地震の現場から得られた事実をまとめて、教訓を促しているサイトをご紹介します。

ITPro>マネジメント>BPC(事業継続計画)  
『いま生かすべき新潟県中越地震の教訓』

URL : <http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20070426/269118/?ST=bcp>

小規模のものであれば、すぐに机の前に座って検索・場所確認・現場確認・対処といったことが可能なのですが、今回のような新潟県中越地震のような大きな災害では、そのようには行きません。

災害時の取り決めが曖昧になっているあるいは、一切の取り決めがなされていない場合は、この際に見直してみてもいいでしょうか？

## 災害時に備えての人材育成

意外と盲点になっているのが人材育成です。ある特定の人のみが操作でき、他の人はまったくタッチできないケースは少なくないと思います。そのようなケースに陥ってしまった場合、一切の業務が成り立たなくなってしまいます。そうなってしまったからでは遅いので、そうならないように研修等を行い、簡単な操作程度は覚えることが必要です。

山形は大きな災害がなく安全であると思われていますが、いつ大きな災害がおこるとも限りません。そのような時に、慌てることのないよう日頃からの訓練や機材整備等がものをいうのかもしれない。

## 次回の GIS News!

今回は、2007年11月19日発行予定です。よろしくお付き合い下さい！

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 清野正道 発行日：2007年10月22日

